

日本遺産について

「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」

平成28年4月、呉市は、横須賀市、佐世保市、舞鶴市とともに文化庁より日本遺産に認定されました。



日本遺産ロゴマーク

【日本遺産とは】

- ◆ 地域の歴史的魅力や特色を通じ、我が国の文化・歴史を語る物語（ストーリー）を認定
- ◆ 平成26年に文化庁によって創設、平成27年度から認定開始
- ◆ 平成32年までに100件程度の認定を予定
- ◆ 特徴

【日本遺産】	【従来型の文化財行政】
「活用重視」	「保存重視」
地域に点在する様々な遺産を「面」として活用・発信	個々の遺産ごとに、いわば「点」として指定

- ◆ その他、認定されたストーリー（例）

【尾道市】

尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市

【伊賀市、甲賀市】

忍びの里 伊賀・甲賀ーリアル忍者を求めてー

【雲南市・安来市・奥出雲町】

出雲國たたら風土記 ～鉄づくり千年が生んだ物語～

【ストーリーの概要】

鎮守府開庁～四市の地勢と鎮守府の役割～

- ◆ 日本を守るために厳しい地勢条件を満たした四市に鎮守府（海防の拠点）を設置

躍動の時代～近代日本の技術を集結・発展～

- ◆ 最先端技術・設備を投入→西洋技術の吸収・人材育成・伝承
- ◆ 造船業を中心に日本近代化を推進

静かな農漁村から近代都市へ～国家プロジェクトによる都市形成～

- ◆ 鎮守府設置に伴い、急速かつ計画的な軍港都市を形成
- ◆ 国家プロジェクトによるインフラ整備、都市化の発展、人口増加

四市のいま～当時の近代化遺産と文化が息づくまち～

- ◆ 多種多様な数多くの近代化遺産が現役で稼働しており、躍動した往時の姿を体感できる。



スチームハンマー

横須賀市



海上自衛隊呉地方総監部

呉市



針尾送信所

佐世保市



舞鶴赤れんがパーク

舞鶴市



旧軍港四市シンボルマーク